

	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成18年1月-12月](#) > 宇宙誕生の謎に迫る世界最先端のクォーク物質探索研究に着手

入試情報

宇宙誕生の謎に迫る世界最先端のクォーク物質探索研究に着手

教育・学生生活

報道機関各位

研究

平成18年6月9日  
 国立大学法人広島大学  
 広報グループ広報課長

社会連携

留学・国際交流

## 記者発表会のご案内

学部・大学院等

宇宙誕生の謎に迫る世界最先端のクォーク物質探索研究に着手

研究所・施設等

広報・報道

広島大学大学院理学研究科の杉立徹教授らの研究グループは、平成18年度文部科学省科学研究費特別推進研究の助成を受け、素粒子と宇宙物理学を融合する世界最先端のクォーク物理学研究を、さらに推進します。

採用情報

校友会・同窓会

これにより、宇宙開闢以来、初めて作られた物質である「クォーク物質」の実態の解明はもとより、宇宙誕生直後、僅か10万分の1秒後の極初期宇宙に起こった時空発展のダイナミクスを解き明かす有力な手がかりを得ることが期待できます。

支援財団・基金

図書館・博物館等

杉立教授らは、これまでも、ビッグバン直後の極初期宇宙状態の実験的研究を通して、物質の根源的要素であるクォークとグルーオンからなる新しい物質状態が、ほぼ「完全な」流体としての性質を示すことを発見し、昨年4月に公表しております。これは、ごく初期の宇宙が「液体」の状態であった可能性を示すものとして注目を集めたところです。

大学病院

附属学校

今後、平成18年から19年にかけて、スイスやロシアなどの研究者と国際協力のもとで世界最高性能の光子検出器の建設を進め、平成20年からは、ビーム実験期間中に極初期宇宙状態を再現するクォーク物質を創生し、その性質を明らかにし、「宇宙の初期は液体？」と問われた疑問に答えていく予定です。

なお、補助金は、平成18年度から5年間で総額3億1千万円の予定です。

つきましては、下記のとおり記者発表会を開催し、詳細をご説明いたします。ご多忙とは存じますが、是非ご参加いただきたくご案内申し上げます。

## 記

開催日時 平成18年6月13日(火)9時～10時

場所 広島大学本部棟 4階会議室(東広島キャンパス)

出席者 広島大学理事・副学長(社会連携・研究担当)岡田 光正  
 広島大学大学院理学研究科長 清水 洋  
 広島大学大学院理学研究科 教授 杉立 徹

【参考】特別推進研究は科学研究費のうち、「国際的に高い評価を得ている研究であって、格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究」を厳選して文部科学省が助成するもので、平成17年度は全分野合計で20件が採択されているに留まります。広島大学では、3件目の受領となります。

## 【お問い合わせ先】

広島大学広報グループ  
 TEL:082-424-6017  
 E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp

※記者発表会への出席予定の報道関係の方は、会社名及び氏名を、6月12日(月)17時までに広島大学広報グループへ、電話又はメールでご連絡ください。

## 広大公式アカウント一覧

